

訂正箇所		正誤区分			
特記仕様書 5頁 7 関連施設 その他との関係(3)水道関係	誤	(3) 水道関係			
		位 置	路線名	管理者名	摘 要
		STA. 153+80付近	町道A110	横芝光町	下水道 令和4年12月までに 発注者で移設の予定
		STA. 157+40付近	旧県道横芝・山武線	山武郡市広域水道企業団	上水道 令和4年7月までに発 注者で移設の予定
		STA. 177+00付近	町道二級路線Ⅱ-4	山武郡市広域水道企業団	上水道 令和4年8月までに発 注者で移設の予定
	正	(3) 水道関係			
		位 置	路線名	管理者名	摘 要
		STA. 153+80付近	町道A110	横芝光町	下水道 令和4年3月までに発 注者で移設の予定
		STA. 157+40付近	旧県道横芝・山武線	山武郡市広域水道企業団	上水道 令和4年7月までに発 注者で移設の予定
		STA. 177+00付近	町道二級路線Ⅱ-4	山武郡市広域水道企業団	上水道 令和4年8月までに発 注者で移設の予定

訂正箇所		正誤区分			
特記仕様書 15頁 17-1 再生資 材の使用	誤	5-(6) 用・排水管ののみ口、吐口 F-φ0.70(1.8)S 吐口ますA-1 のみ口ますA-2 吐口ますB-1 のみ口ますB-2 吐口ますC-1 のみ口ますC-2 吐口ますD-1 のみ口ますD-2 吐口ますE-1 のみ口ますE-2	再生クラッシャー	約15m ³	
		18-(3) 簡易舗装工 再生切込砕石路盤工 (t=10cm) 再生切込砕石路盤工 (t=14cm) 再生切込砕石路盤工 (t=15cm) 再生切込砕石路盤工 (t=20cm)	再生クラッシャー	約1,800m ³	舗装再生便覧 ((社)日本道路 協会)
		再生粒度調整路盤工 (t=15cm) 再生水硬性流調砕石路盤工 (t=14cm)			
		18-(3) 簡易舗装工	表層用再生加熱 アスファルト混合物	約14,000m ³	舗装再生便覧 ((社)日本道路 協会)
	正	5-(6) 用・排水管ののみ口、吐口 F-φ0.70(1.8)S 吐口ますA-1 のみ口ますA-2 吐口ますB-1 のみ口ますB-2 吐口ますC-1 のみ口ますC-2 吐口ますD-1 のみ口ますD-2 吐口ますE-1 のみ口ますE-2	再生クラッシャー	約15m ³	
		18-(3) 簡易舗装工 再生切込砕石路盤工 (t=10cm) 再生切込砕石路盤工 (t=14cm) 再生切込砕石路盤工 (t=15cm) 再生切込砕石路盤工 (t=20cm)	再生クラッシャー	約1,700m ³	舗装再生便覧 ((社)日本道路 協会)
		18-(3) 簡易舗装工 再生粒度調整路盤工 (t=15cm)	再生粒度調整 砕石	約70m ³	舗装再生便覧 ((社)日本道路 協会)
		18-(3) 簡易舗装工 再生水硬性粒調砕石路盤工 (t=14cm)	水硬性粒度調整 鉄鋼スラグ	約70m ³	

訂正箇所		正誤区分		
特記仕様書 19頁 21-2-1 道路掘削、客土掘削	誤	2 1 - 2 土工 2 1 - 2 - 1 道路掘削、客土掘削 (1) 種別 共通仕様書 2 - 6 - 1 に規定する単価表の項目の種別は下記のとおりとする。		
		単価表の項目	作 業 内 容 備 考	
		道路掘削 土砂	1) 本線、迂回道路、側道の切土部における土砂の掘削、積込み 2) 本線の路体、載荷盛土、下部路床、上部路床、構造物裏込め部、迂回道路、側道への運搬、敷均し、締固め 3) 表層排水工への運搬 4) 含水比の調整	土羽土（粘性土）、高谷川橋 A 2 橋台の裏込め排水工を含む
		道路掘削 土砂（表土）	1) 本線、迂回道路、側道、横芝光土取場の切土部における土砂（表土）の掘削、積込み 2) 本線の路体、横芝光土取場盛土部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整	
	正	2 1 - 2 土工 2 1 - 2 - 1 道路掘削、客土掘削 (1) 種別 共通仕様書 2 - 6 - 1 に規定する単価表の項目の種別は下記のとおりとする。		
		単価表の項目	作 業 内 容 備 考	
		道路掘削 土砂	1) 本線、迂回道路、側道の切土部における土砂の掘削、積込み 2) 本線の路体、載荷盛土、下部路床、構造物裏込め部、迂回道路、側道への運搬、敷均し、締固め 3) 表層排水工への運搬 4) 含水比の調整	土羽土（粘性土）、高谷川橋 A 2 橋台の裏込め排水工を含む
		道路掘削 土砂（表土）	1) 本線、迂回道路、側道、横芝光土取場の切土部における土砂（表土）の掘削、積込み 2) 本線の路体、横芝光土取場盛土部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整	
		2 1 - 2 土工 2 1 - 2 - 1 道路掘削、客土掘削 (1) 種別 共通仕様書 2 - 6 - 1 に規定する単価表の項目の種別は下記のとおりとする。		
		単価表の項目	作 業 内 容 備 考	
		客土掘削 土砂 A 1	1) 横芝光土取場における客土の掘削、積込み 2) 本線の路体、載荷盛土、下部路床、構造物裏込め部、迂回道路、側道への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整	

訂正箇所		正誤区分															
特記仕様書 20頁 21-2-2 盛土工	誤	(2) 支払 共通仕様書 2－7－8 支払に下記を追加する。 盛土工 C 1、C 2、C 3 の契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う安定処理工 A 2 で攪拌混合された材料の敷均し、含水比の調整、締固め、整形及び仕上げ等盛土工 C の施工に要する労力・機械器具等、本工事を完成するために必要な諸経費に含まれるものを除く全ての費用を含むものとする。 <table><tr><th colspan="2">単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>2－(6)</td><td>盛土工</td><td></td></tr><tr><td></td><td>盛土工 C 1</td><td>m³</td></tr><tr><td></td><td>盛土工 C 2</td><td>m³</td></tr><tr><td></td><td>盛土工 C 3</td><td>m³</td></tr></table>	単価表の項目		検測の単位	2－(6)	盛土工			盛土工 C 1	m ³		盛土工 C 2	m ³		盛土工 C 3	m ³
	単価表の項目		検測の単位														
2－(6)	盛土工																
	盛土工 C 1	m ³															
	盛土工 C 2	m ³															
	盛土工 C 3	m ³															
	正	(2) 支払 共通仕様書 2－7－8 支払に下記を追加する。 盛土工 C 1 の契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う安定処理工 A 2 で攪拌混合された材料の敷均し、含水比の調整、締固め等、盛土工 C 1 の施工に要する労力・機械器具等、本工事を完成するために必要な諸経費に含まれるものを除く全ての費用を含むものとする。 盛土工 C 2・C 3 の契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う載荷盛土取除き工 A で発生した材料の敷均し、含水比の調整、締固め等、盛土工 C 2・C 3 の施工に要する労力・機械器具等、本工事を完成するために必要な諸経費に含まれるものを除く全ての費用を含むものとする。 <table><tr><th colspan="2">単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>2－(6)</td><td>盛土工</td><td></td></tr><tr><td></td><td>盛土工 C 1</td><td>m³</td></tr><tr><td></td><td>盛土工 C 2</td><td>m³</td></tr><tr><td></td><td>盛土工 C 3</td><td>m³</td></tr></table>	単価表の項目		検測の単位	2－(6)	盛土工			盛土工 C 1	m ³		盛土工 C 2	m ³		盛土工 C 3	m ³
単価表の項目		検測の単位															
2－(6)	盛土工																
	盛土工 C 1	m ³															
	盛土工 C 2	m ³															
	盛土工 C 3	m ³															

訂正箇所		正誤区分										
特記仕様書 20頁 21-2-3 構造 物掘削	誤	普通部	<table><tr><th>単価表の項目</th><th>作 業 内 容</th></tr><tr><td rowspan="4"></td><td>【0V8号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) はねつけ、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整</td></tr><tr><td>【0V9号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) はねつけ、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整</td></tr><tr><td>【29号BOX】 1) 地盤改良後の掘削（土砂F相当） 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整</td></tr><tr><td>【30号BOX】 1) 地盤改良後の掘削（土砂F相当） 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整</td></tr><tr><td></td><td>【STA. 160+60 重力式擁壁】 1) 現地盤からの土砂の掘削 2) はねつけ、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整</td></tr></table>	単価表の項目	作 業 内 容		【0V8号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) はねつけ、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整	【0V9号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) はねつけ、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整	【29号BOX】 1) 地盤改良後の掘削（土砂F相当） 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整	【30号BOX】 1) 地盤改良後の掘削（土砂F相当） 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整		【STA. 160+60 重力式擁壁】 1) 現地盤からの土砂の掘削 2) はねつけ、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整
	単価表の項目	作 業 内 容										
	【0V8号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) はねつけ、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整											
	【0V9号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) はねつけ、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整											
	【29号BOX】 1) 地盤改良後の掘削（土砂F相当） 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整											
	【30号BOX】 1) 地盤改良後の掘削（土砂F相当） 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整											
	【STA. 160+60 重力式擁壁】 1) 現地盤からの土砂の掘削 2) はねつけ、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整											
正	普通部	<table><tr><th>単価表の項目</th><th>作 業 内 容</th></tr><tr><td rowspan="4"></td><td>【0V8号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) 施工箇所近傍に仮置き、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整</td></tr><tr><td>【0V9号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) 施工箇所近傍に仮置き、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整</td></tr><tr><td>【29号BOX】 1) 地盤改良後の掘削（土砂F相当） 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整</td></tr><tr><td>【30号BOX】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整</td></tr><tr><td></td><td>【STA. 160+60 重力式擁壁】 1) 現地盤からの土砂の掘削 2) 施工箇所近傍に仮置き、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整</td></tr></table>	単価表の項目	作 業 内 容		【0V8号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) 施工箇所近傍に仮置き、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整	【0V9号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) 施工箇所近傍に仮置き、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整	【29号BOX】 1) 地盤改良後の掘削（土砂F相当） 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整	【30号BOX】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整		【STA. 160+60 重力式擁壁】 1) 現地盤からの土砂の掘削 2) 施工箇所近傍に仮置き、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整	
単価表の項目	作 業 内 容											
	【0V8号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) 施工箇所近傍に仮置き、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整											
	【0V9号（下部工）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) 施工箇所近傍に仮置き、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整											
	【29号BOX】 1) 地盤改良後の掘削（土砂F相当） 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整											
	【30号BOX】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) 路体への運搬、敷均し、締固め 3) 含水比の調整											
	【STA. 160+60 重力式擁壁】 1) 現地盤からの土砂の掘削 2) 施工箇所近傍に仮置き、埋戻し 3) 路体への運搬、敷均し、締固め 4) 含水比の調整											

訂正箇所		正誤区分		
特記仕様書 23頁 21-4-3 コン クリートブロッ ク張工	誤	2 1－4－3 コンクリートブロック張工 (1) 材料 共通仕様書4－1 8－2に規定する単価表の項目の種別は下記のとおりとする。		
		<table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th></tr><tr><td>コンクリートブロック張工 コンクリートブロック張り（練）控3 5 c m A</td><td>・コンクリートブロック（JIS A 5371 附属書 4 及びJIS A 5372 附属書 2の規格に準拠するもの）を使用したブロック張りで、コンクリートブロック製品の表面は、粗面タイプのもの。</td></tr></table>	単価表の項目	区分内容
単価表の項目	区分内容			
コンクリートブロック張工 コンクリートブロック張り（練）控3 5 c m A	・コンクリートブロック（JIS A 5371 附属書 4 及びJIS A 5372 附属書 2の規格に準拠するもの）を使用したブロック張りで、コンクリートブロック製品の表面は、粗面タイプのもの。			
		(2) 支払 共通仕様書4－1 8－5支払に下記を追加する。		
		<u>単価表の項目</u>	<u>検測の単位</u>	
		4－（1 5） コンクリートブロック張工 コンクリートブロック張り（練）控3 5 c m A	m ²	
	正	2 1－4－3 コンクリートブロック張工 (1) 材料 共通仕様書4－1 8－2に規定する単価表の項目の種別は下記のとおりとする。		
		<table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th></tr><tr><td>コンクリートブロック張工 コンクリートブロック張り（練）控3 5 c m A</td><td>・コンクリートブロック（JIS A 5371 附属書 4の規格に準拠するもの）を使用したブロック張りで、コンクリートブロック製品の表面は、粗面タイプのもの。</td></tr></table>	単価表の項目	区分内容
単価表の項目	区分内容			
コンクリートブロック張工 コンクリートブロック張り（練）控3 5 c m A	・コンクリートブロック（JIS A 5371 附属書 4の規格に準拠するもの）を使用したブロック張りで、コンクリートブロック製品の表面は、粗面タイプのもの。			
		(2) 支払 共通仕様書4－1 8－5支払に下記を追加する。		
		<u>単価表の項目</u>	<u>検測の単位</u>	
		4－（1 5） コンクリートブロック張工 コンクリートブロック張り（練）控3 5 c m A	m ²	

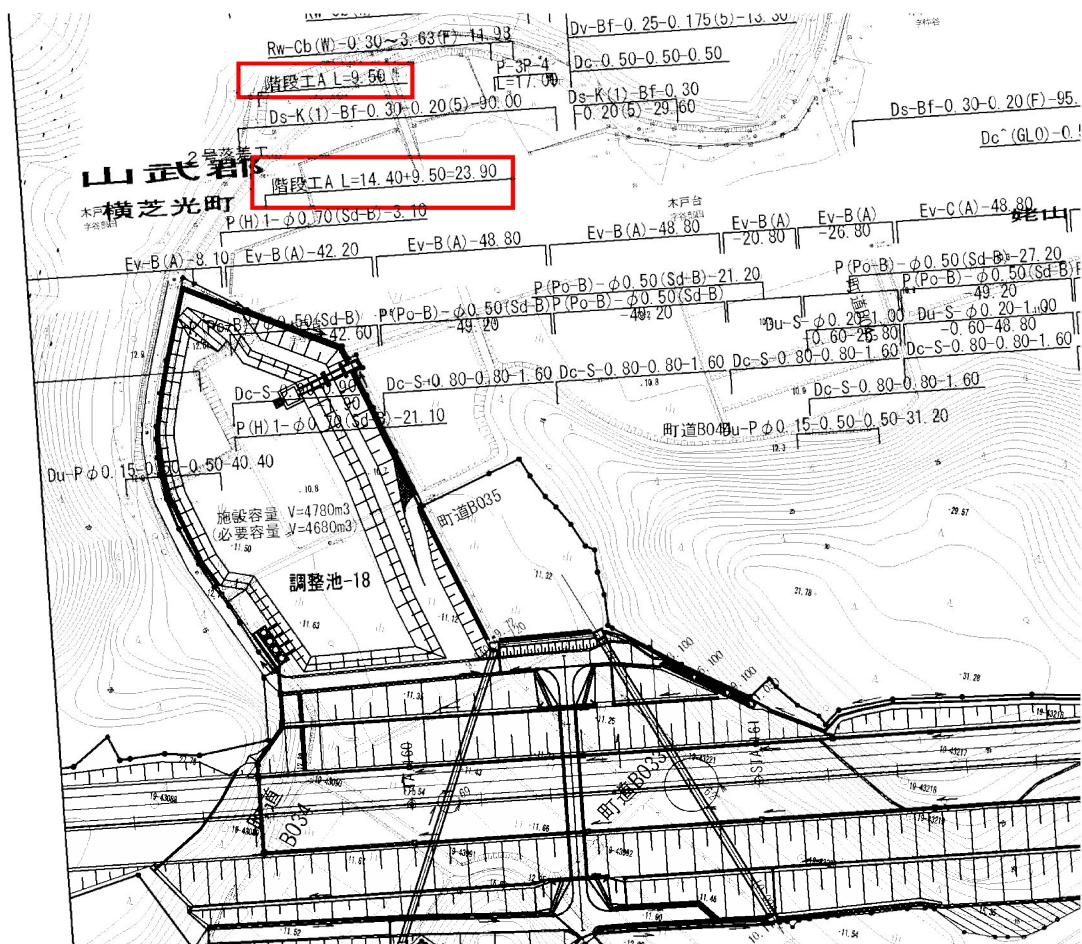
訂正箇所		正誤区分															
特記仕様書 28頁 21-6-1 コルゲートパイプカルバート	誤	2 1－6 カルバート工 2 1－6－1 コルゲートパイプカルバート (1) 種別 共通仕様書 6－4－3 に規定する単価表の項目の種別に下記を追加する。															
		<table><tr><th rowspan="2">単価表の項目</th><th colspan="4">区分内容</th></tr><tr><th>断面形状</th><th>波形</th><th>継手方式等</th><th>備考</th></tr><tr><td>コルゲートパイプ $2R-\phi a \cdot t=b$ (A)</td><td>円型</td><td>2 型</td><td>セクションの継手方式は、軸方向、円周方向ともラップ方式</td><td>基礎材、型わく、中詰め土、用排水溝（Ds－Bf－0.30・0.20）、コンクリートシール、小口止めコンクリートの設置を含む</td></tr></table>				単価表の項目	区分内容				断面形状	波形	継手方式等	備考	コルゲートパイプ $2R-\phi a \cdot t=b$ (A)	円型	2 型
単価表の項目	区分内容																
	断面形状	波形	継手方式等	備考													
コルゲートパイプ $2R-\phi a \cdot t=b$ (A)	円型	2 型	セクションの継手方式は、軸方向、円周方向ともラップ方式	基礎材、型わく、中詰め土、用排水溝（Ds－Bf－0.30・0.20）、コンクリートシール、小口止めコンクリートの設置を含む													
	正	2 1－6 カルバート工 2 1－6－1 コルゲートパイプカルバート (1) 種別 共通仕様書 6－5－3 に規定する単価表の項目の種別に下記を追加する。															
		<table><tr><th rowspan="2">単価表の項目</th><th colspan="4">区分内容</th></tr><tr><th>断面形状</th><th>波形</th><th>継手方式等</th><th>備考</th></tr><tr><td>コルゲートパイプ $2R-\phi a \cdot t=b$ (A)</td><td>円型</td><td>2 型</td><td>セクションの継手方式は、軸方向、円周方向ともラップ方式</td><td>基礎材、型わく、中詰め土、用排水溝（Ds－Bf－0.30・0.20）、コンクリートシール、小口止めコンクリートの設置を含む</td></tr></table>				単価表の項目	区分内容				断面形状	波形	継手方式等	備考	コルゲートパイプ $2R-\phi a \cdot t=b$ (A)	円型	2 型
単価表の項目	区分内容																
	断面形状	波形	継手方式等	備考													
コルゲートパイプ $2R-\phi a \cdot t=b$ (A)	円型	2 型	セクションの継手方式は、軸方向、円周方向ともラップ方式	基礎材、型わく、中詰め土、用排水溝（Ds－Bf－0.30・0.20）、コンクリートシール、小口止めコンクリートの設置を含む													

訂正箇所		正誤区分														
特記仕様書 33頁 21-12-1 簡 易舗装工	誤	(2) 材料 共通仕様書 18-5-2 (1)、(2)、(3)、(4) に規定する材料の種類は、下記とおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>材料等の種類</th></tr><tr><td>簡易舗装工 切込碎石路盤工 (t = a c m)</td><td>クラッシャーラン (C-40)</td></tr><tr><td>簡易舗装工 再生切込碎石路盤工 (t = a c m)</td><td>再生クラッシャーラン (RC-40)</td></tr><tr><td>簡易舗装工 粒度調整路盤工 (t = a c m)</td><td>クラッシャーラン (C-40)</td></tr><tr><td>簡易舗装工 再生粒度調整路盤工 (t = a c m)</td><td>再生クラッシャーラン (RC-40)</td></tr><tr><td>簡易舗装工 再生水硬性粒調碎石路盤工 (t = a c m)</td><td>再生クラッシャーラン (RC-40)</td></tr><tr><td>簡易舗装工 コンクリート表層工 (t = a c m)</td><td>共通仕様書 18-10 の規定に基づく 溶接金網含む</td></tr></table>	単価表の項目	材料等の種類	簡易舗装工 切込碎石路盤工 (t = a c m)	クラッシャーラン (C-40)	簡易舗装工 再生切込碎石路盤工 (t = a c m)	再生クラッシャーラン (RC-40)	簡易舗装工 粒度調整路盤工 (t = a c m)	クラッシャーラン (C-40)	簡易舗装工 再生粒度調整路盤工 (t = a c m)	再生クラッシャーラン (RC-40)	簡易舗装工 再生水硬性粒調碎石路盤工 (t = a c m)	再生クラッシャーラン (RC-40)	簡易舗装工 コンクリート表層工 (t = a c m)	共通仕様書 18-10 の規定に基づく 溶接金網含む
	単価表の項目	材料等の種類														
簡易舗装工 切込碎石路盤工 (t = a c m)	クラッシャーラン (C-40)															
簡易舗装工 再生切込碎石路盤工 (t = a c m)	再生クラッシャーラン (RC-40)															
簡易舗装工 粒度調整路盤工 (t = a c m)	クラッシャーラン (C-40)															
簡易舗装工 再生粒度調整路盤工 (t = a c m)	再生クラッシャーラン (RC-40)															
簡易舗装工 再生水硬性粒調碎石路盤工 (t = a c m)	再生クラッシャーラン (RC-40)															
簡易舗装工 コンクリート表層工 (t = a c m)	共通仕様書 18-10 の規定に基づく 溶接金網含む															
	正	(2) 材料 共通仕様書 18-5-2 (1)、(2)、(3)、(4) に規定する材料の種類は、下記とおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>材料等の種類</th></tr><tr><td>簡易舗装工 切込碎石路盤工 (t = a c m)</td><td>クラッシャーラン (C-40)</td></tr><tr><td>簡易舗装工 再生切込碎石路盤工 (t = a c m)</td><td>再生クラッシャーラン (RC-40)</td></tr><tr><td>簡易舗装工 粒度調整路盤工 (t = a c m)</td><td>粒度調整碎石 (M-40、M-30)</td></tr><tr><td>簡易舗装工 再生粒度調整路盤工 (t = a c m)</td><td>再生粒度調整碎石 (RM-40)</td></tr><tr><td>簡易舗装工 再生水硬性粒調碎石路盤工 (t = a c m)</td><td>水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>簡易舗装工 コンクリート表層工 (t = a c m)</td><td>共通仕様書 18-10 の規定に基づく 溶接金網含む</td></tr></table>	単価表の項目	材料等の種類	簡易舗装工 切込碎石路盤工 (t = a c m)	クラッシャーラン (C-40)	簡易舗装工 再生切込碎石路盤工 (t = a c m)	再生クラッシャーラン (RC-40)	簡易舗装工 粒度調整路盤工 (t = a c m)	粒度調整碎石 (M-40、M-30)	簡易舗装工 再生粒度調整路盤工 (t = a c m)	再生粒度調整碎石 (RM-40)	簡易舗装工 再生水硬性粒調碎石路盤工 (t = a c m)	水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	簡易舗装工 コンクリート表層工 (t = a c m)	共通仕様書 18-10 の規定に基づく 溶接金網含む
単価表の項目	材料等の種類															
簡易舗装工 切込碎石路盤工 (t = a c m)	クラッシャーラン (C-40)															
簡易舗装工 再生切込碎石路盤工 (t = a c m)	再生クラッシャーラン (RC-40)															
簡易舗装工 粒度調整路盤工 (t = a c m)	粒度調整碎石 (M-40、M-30)															
簡易舗装工 再生粒度調整路盤工 (t = a c m)	再生粒度調整碎石 (RM-40)															
簡易舗装工 再生水硬性粒調碎石路盤工 (t = a c m)	水硬性粒度調整鉄鋼スラグ															
簡易舗装工 コンクリート表層工 (t = a c m)	共通仕様書 18-10 の規定に基づく 溶接金網含む															

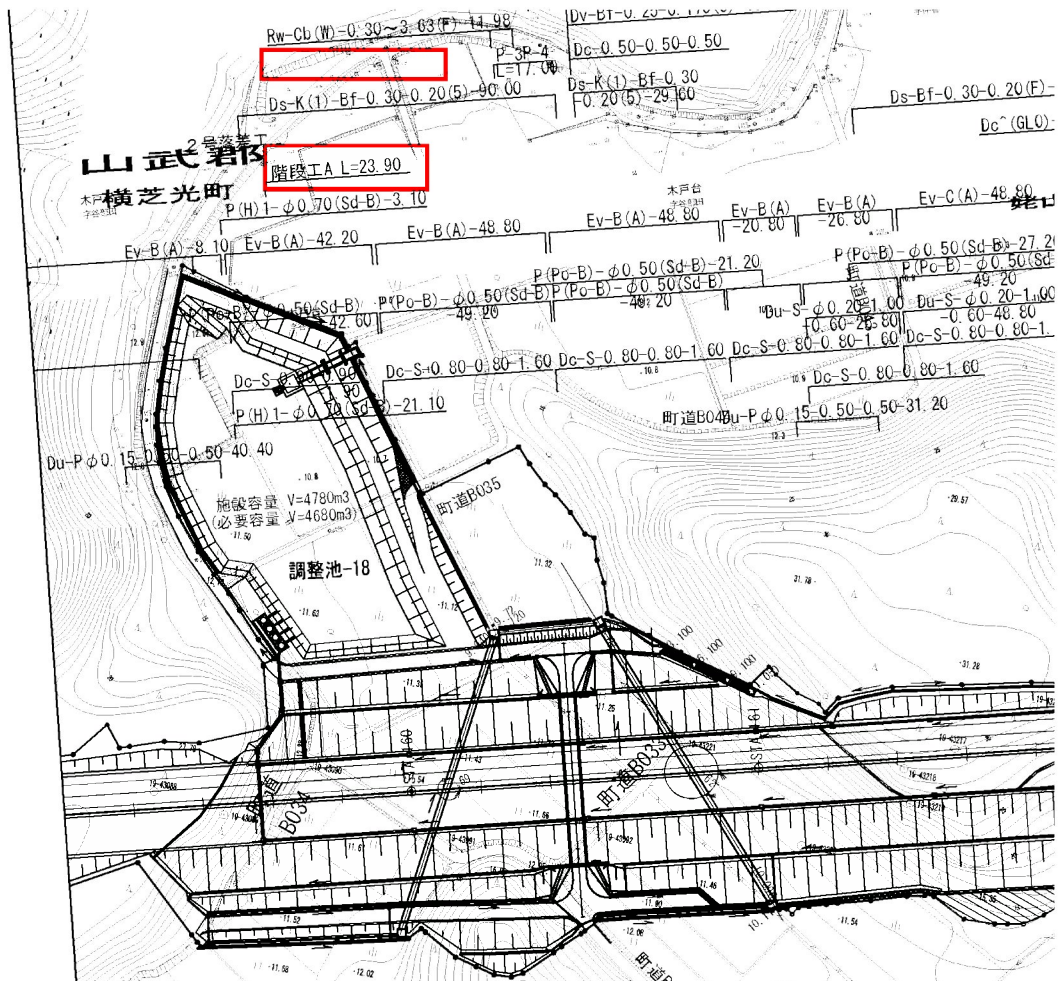
訂正箇所		正誤区分										
特記仕様書 52頁 21-24 放流塔工	誤	(6) 支払 放流塔工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1基当りの契約単価で支払うものとする。この契約単価には、監督員の指示に従って行う床掘、スクリーンの設置、昇降階段の設置、コンクリートの計量、練り混ぜ、運搬、打込み、養生、型わくの製作、据付け、取外し、鉄筋の加工、組立て、据付け、足場工等、放流塔の施工に必要な材料・労力・機械器具等、本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。 <table><tr><td></td><td><u>単価表の項目</u></td><td><u>検測の単位</u></td></tr><tr><td>特一（10）</td><td>放流塔工</td><td></td></tr><tr><td></td><td>A</td><td>基</td></tr></table>		<u>単価表の項目</u>	<u>検測の単位</u>	特一（10）	放流塔工			A	基	
		<u>単価表の項目</u>	<u>検測の単位</u>									
特一（10）	放流塔工											
	A	基										
	正	(6) 支払 放流塔工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1基当りの契約単価で支払うものとする。この契約単価には、監督員の指示に従って行う床掘、スクリーンの設置、コンクリートの計量、練り混ぜ、運搬、打込み、養生、型わくの製作、据付け、取外し、鉄筋の加工、組立て、据付け、足場工等、放流塔の施工に必要な材料・労力・機械器具等、本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。 <table><tr><td></td><td><u>単価表の項目</u></td><td><u>検測の単位</u></td></tr><tr><td>特一（10）</td><td>放流塔工</td><td></td></tr><tr><td></td><td>A</td><td>基</td></tr></table>		<u>単価表の項目</u>	<u>検測の単位</u>	特一（10）	放流塔工			A	基	
	<u>単価表の項目</u>	<u>検測の単位</u>										
特一（10）	放流塔工											
	A	基										

設計図
(本線)
7/80頁
平面図(2)

誤



正

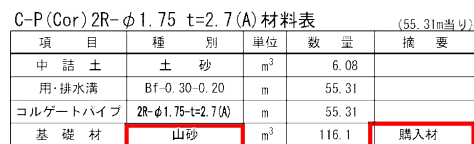


訂正箇所	正誤区分								
設計図 (地盤改良工) 15/82頁 B2盛土 (STA.160+20.00付近)地盤改良工 平面図	<table><tr><td></td><td>改良工 A2</td></tr><tr><td></td><td>改良工 B1 (BOX、パイプカルバート)</td></tr><tr><td></td><td>改良工 B2 (ブロック積み)</td></tr><tr><td></td><td>圧密促進工 (バーチカルドレーン)</td></tr></table>		改良工 A2		改良工 B1 (BOX、パイプカルバート)		改良工 B2 (ブロック積み)		圧密促進工 (バーチカルドレーン)
	改良工 A2								
	改良工 B1 (BOX、パイプカルバート)								
	改良工 B2 (ブロック積み)								
	圧密促進工 (バーチカルドレーン)								
正	<table><tr><td></td><td>改良工 A2</td></tr><tr><td></td><td>改良工 B1 (BOX、ブロック積)</td></tr><tr><td></td><td>改良工 B2 (パイプカルバート)</td></tr><tr><td></td><td>圧密促進工 (バーチカルドレーン)</td></tr></table>		改良工 A2		改良工 B1 (BOX、ブロック積)		改良工 B2 (パイプカルバート)		圧密促進工 (バーチカルドレーン)
	改良工 A2								
	改良工 B1 (BOX、ブロック積)								
	改良工 B2 (パイプカルバート)								
	圧密促進工 (バーチカルドレーン)								

誤



正

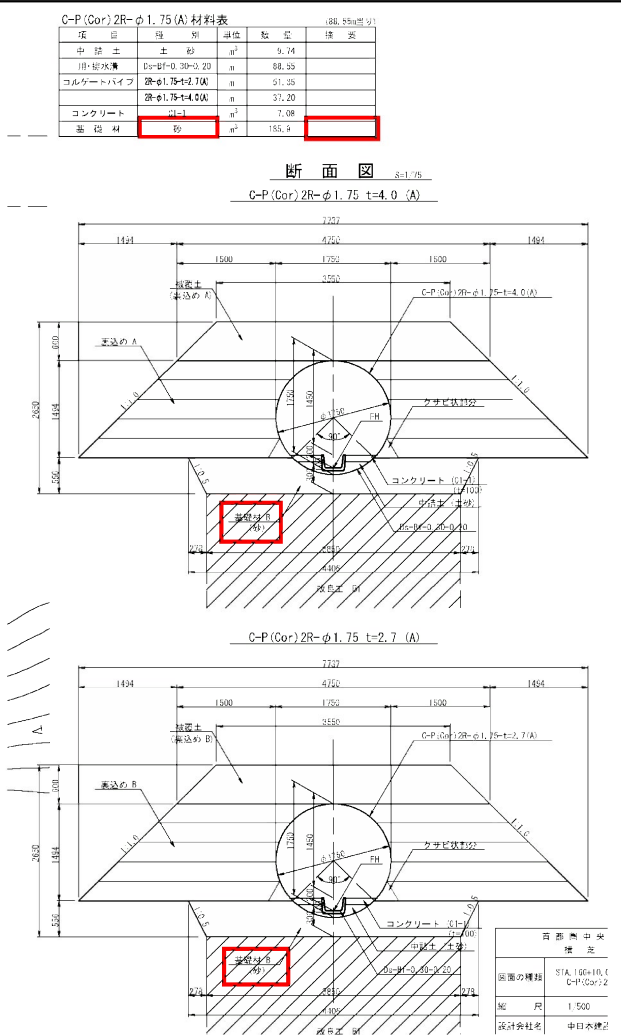


訂正箇所

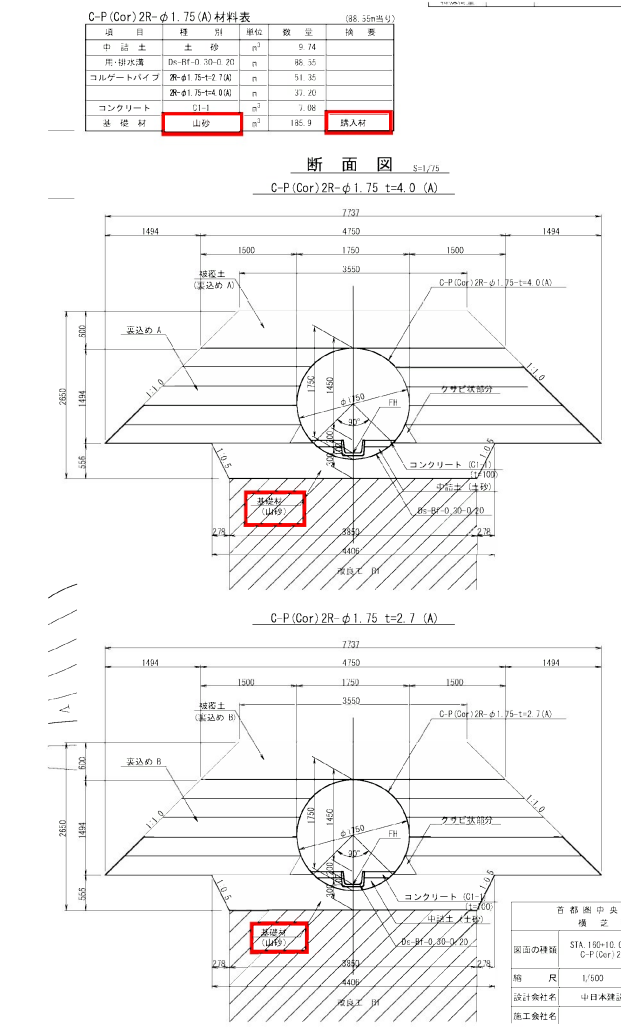
正誤区分

設計図
(管渠工)
6/26頁
STA.160+10.0
1 C-P(Cor)
2R-φ1.75
(A)-88.55 一
般図

誤



正



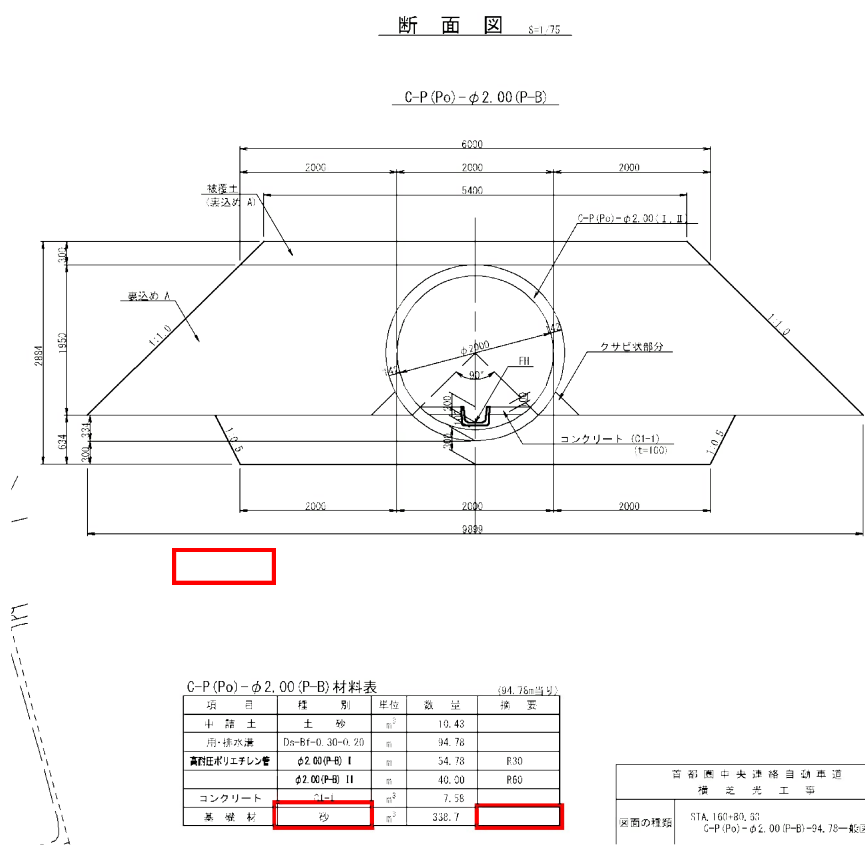
訂正箇所
設計図
(管渠工)
11/26頁
STA.16+80.63
C-P(Po)-φ
2.00(P-B)-
94.78 一般図

正誤区分

誤

断面図 S=1.75

C-P(Po)-φ2.00(P-B)



C-P(Po)-φ2.00(P-B) 材料表 (94.78m当り)

項目	種別	単位	数量	摘要
中詰土	土砂	m³	10.43	
用排水溝	Ds-Bf-0.30-0.20	m	94.78	
高耐圧ポリエチレン管	φ2.00(P-B) I	m	54.78	R30
	φ2.00(P-B) II	m	40.00	R60
コンクリート	C1-I	m³	7.58	
基礎材	砂	m³	338.7	

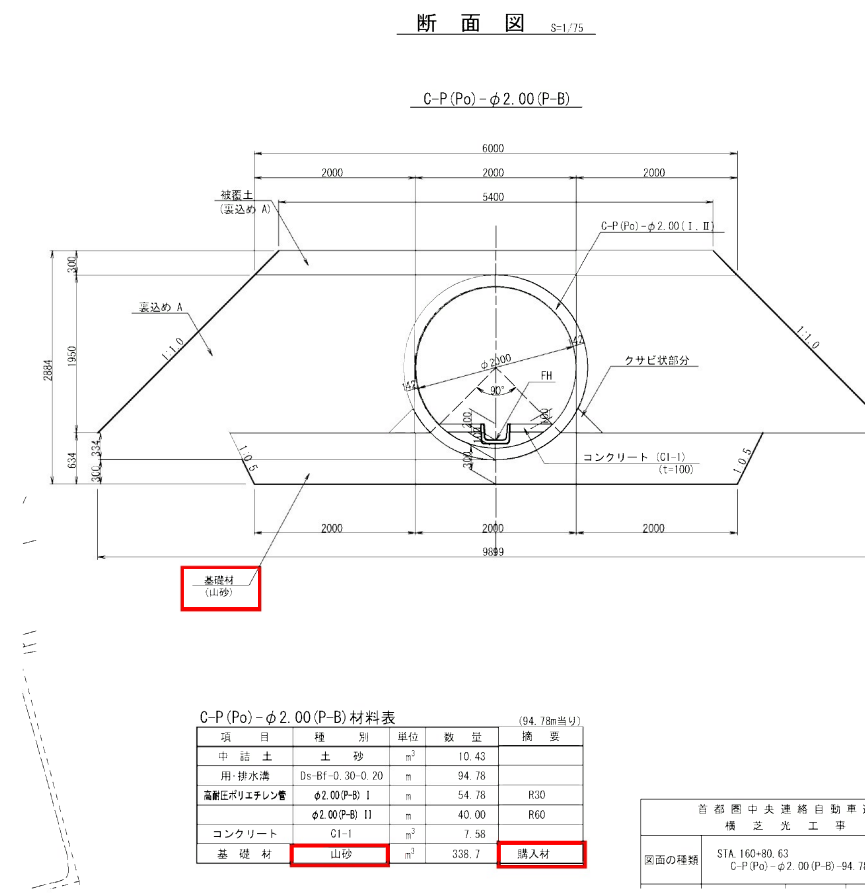
首都圏中央連絡自動車道
横芝光工事

図面の種類 STA.160+80.30
C-P(Po)-φ2.00(P-B)-94.78一般図

正

断面図 S=1.75

C-P(Po)-φ2.00(P-B)



C-P(Po)-φ2.00(P-B) 材料表 (94.78m当り)

項目	種別	単位	数量	摘要
中詰土	土砂	m³	10.43	
用排水溝	Ds-Bf-0.30-0.20	m	94.78	
高耐圧ポリエチレン管	φ2.00(P-B) I	m	54.78	R30
	φ2.00(P-B) II	m	40.00	R60
コンクリート	C1-I	m³	7.58	
基礎材	山砂	m³	338.7	購入材

首都圏中央連絡自動車道
横芝光工事

図面の種類 STA.160+80.63
C-P(Po)-φ2.00(P-B)-94.78一般図

訂正箇所
設計図
(管渠工)
17/26頁
STA.169+51.7
0 C-P(Cor)
2R-φ1.75
t=2.7(A)-
38.22 一般図

正誤区分

誤

断面図 S=1/75

C-P(Cor)2R-φ1.75 t=2.7(A) 材料表 (38.22m当り)

項目	種別	単位	数量	摘要
中詰土	土砂	m ³	4.20	
用・排水溝	Ds-Bf-0.30-0.20	m	38.22	
コルゲートパイプ	2R-φ1.75-t=2.7(A)	m	38.22	
コンクリート	C1-1	m ³	3.06	
基礎材	砂	m ³	33.4	

正

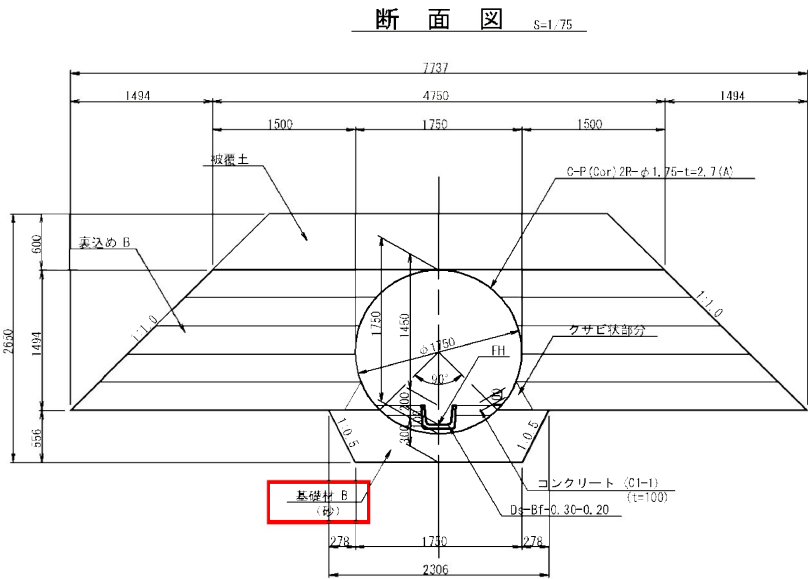
断面図 S=1/75

C-P(Cor)2R-φ1.75 t=2.7(A) 材料表 (38.22m当り)

項目	種別	単位	数量	摘要
中詰土	土砂	m ³	4.20	
用・排水溝	Ds-Bf-0.30-0.20	m	38.22	
コルゲートパイプ	2R-φ1.75-t=2.7(A)	m	38.22	
コンクリート	C1-1	m ³	3.06	
基礎材	山砂	m ³	33.4	購入材

設計図
(管渠工)
22/26頁
STA.174+52.8
2 C-P(Cor)
2R-φ1.75
t=2.7(A)-
30.54 一般図

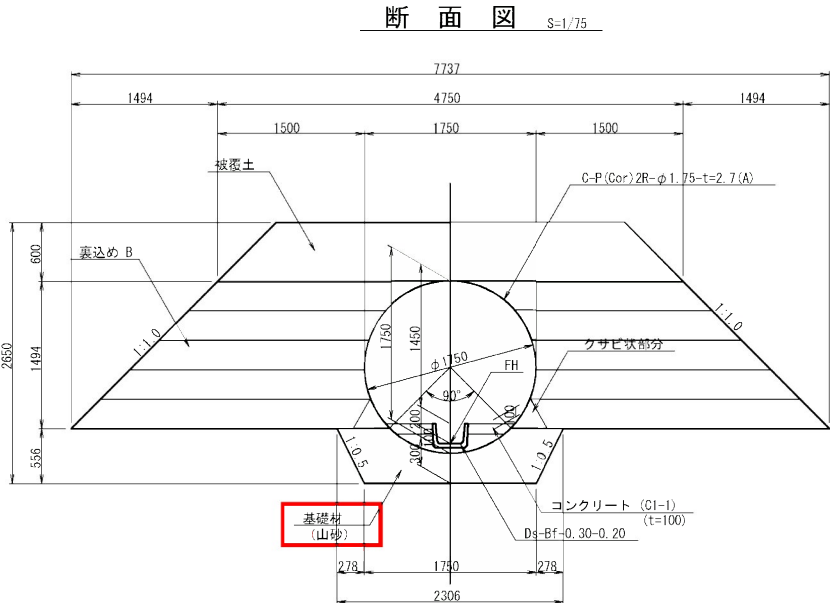
誤



C-P(Cor)2R-φ1.75 t=2.7(A) 材料表 (30.54m当り)

項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
中 詰 土	土 砂	m ³	3.36	
用・排水溝	Ds-Bf-0.30-0.20	m	30.54	
コルゲートパイプ	2R-φ1.75-t=2.7(A)	m	30.54	
コンクリート	C1-1	m ³	2.44	
基 礎 材	砂	m ³	27.4	

正



C-P(Cor)2R-φ1.75 t=2.7(A) 材料表 (30.54m当り)

項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
中 詰 土	土 砂	m ³	3.36	
用・排水溝	Ds-Bf-0.30-0.20	m	30.54	
コルゲートパイプ	2R-φ1.75-t=2.7(A)	m	30.54	
コンクリート	C1-1	m ³	2.44	
基 礎 材	山砂	m ³	27.4	購入材

訂正箇所

設計図
(跨高速道路橋)
1/35頁
一般県道 横芝山武線 跨道橋一般図(その1)

誤

跨道橋設計条件

道路規格	第3種 第3級 (県道)		
設計速度	V = 60km / h ※ 設計速度は、県計画より。		
上部工形式	PC斜材付きπ型ラーメン橋		
橋長	56.500 m (CL上)		
桁長	56.500 m (CL上)		
支間長	11.300m + 33.900m + 11.300m(G-CL上)		
総幅員	11.800 m		
有効幅員	10.800 m		
平面線形	R=687		
縦断勾配	0.721 %		
横断勾配	3.000 % (車道) 2.000 % (歩道)		
斜角	75° 00' 00" (構造中心線との斜角)		
舗装	車道 : アスファルト舗装 t = 80 mm 歩道 : アスファルト舗装 t = 30 mm		
コンクリート	上部工・斜材・鉛直材コンクリート σ _{ck} =36.0 N/mm ² フーチング・土留壁コンクリート σ _{ck} =24.0 N/mm ²		
P C 鋼材	上部工P C鋼材 SWPR7BL-12S15.2 SBPR930/1180-φ32		
鉄筋	上部工鉄筋	SD345, SD490	下部工鉄筋 SD345
活荷重	B活荷重		
温度変化	-5℃～35℃ (基準温度20℃)		
雪荷重	無し		
設計水平震度	K _h = 0.20 (P1・P2)		
落下物防止柵	路面よりH=2.0m, 0.2kN/m		
耐震性能	B種		
適用基準	道路橋示方書・同解説 (I ～ IV)		平成24年 3月 日本道路協会
	道路橋支承便覧		平成16年 4月 日本道路協会
	道路構造令の解説と運用		平成16年 2月 日本道路協会

正

跨道橋設計条件

道路規格	第3種 第3級 (県道)		
設計速度	V = 60km / h ※ 設計速度は、県計画より。		
上部工形式	PC斜材付きπ型ラーメン橋		
橋長	56.500 m (CL上)		
桁長	56.500 m (CL上)		
支間長	11.300m + 33.900m + 11.300m(G-CL上)		
総幅員	11.800 m		
有効幅員	10.800 m		
平面線形	R=687		
縦断勾配	0.721 %		
横断勾配	3.000 % (車道) 2.000 % (歩道)		
斜角	75° 00' 00" (構造中心線との斜角)		
舗装	車道 : アスファルト舗装 t = 80 mm 歩道 : アスファルト舗装 t = 30 mm		
コンクリート	上部工・斜材・鉛直材コンクリート σ _{ck} =36.0 N/mm ² 土留壁コンクリート σ _{ck} =30.0 N/mm ² 、フーチング σ _{ck} =24.0 N/mm ²		
P C 鋼材	上部工P C鋼材 SWPR7BL-12S15.2 SBPR930/1180-φ32		
鉄筋	上部工鉄筋	SD345, SD490	下部工鉄筋 SD345
活荷重	B活荷重		
温度変化	-5℃～35℃ (基準温度20℃)		
雪荷重	無し		
設計水平震度	K _h = 0.20 (P1・P2)		
落下物防止柵	路面よりH=2.0m, 0.2kN/m		
耐震性能	B種		
適用基準	道路橋示方書・同解説 (I ～ IV)		平成24年 3月 日本道路協会
	道路橋支承便覧		平成16年 4月 日本道路協会
	道路構造令の解説と運用		平成16年 2月 日本道路協会

訂正箇所

設計図
(跨高速道路橋)
2/35頁
一般県道 横芝山武線 跨道橋一般図
(その2)

誤

数量表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	P1橋脚	P2橋脚	合計	摘要	
土工	構造物掘削	普通部	土砂	m3	4133.2	3675.7	7808.9		
躯体工	コンクリート	A1-3 (B)	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$	m3	14.0	14.0	28.0		
		B2-1 (B)	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m3	192.4	192.4	384.8		
	型枠	C	H $\leq$ 30m	m2	165.7	165.7	331.3		
		A	SD345	t	8.896	8.896	17.792		
	鉄筋	B		t	18.247	18.247	36.494		
基礎工	コンクリート	D-1	t=100mm	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	箇所	84	84	168	
	型枠	D		m3	8.7	8.7	17.4		
	基礎材	B	t=200mm	m2	4.3	4.3	8.6		
杭基礎工	場所打ちコンクリート杭		RC40	m3	17.4	17.4	34.8		
			ϕ 1500	m	80.0	80.0	160.0		
	鉄筋	Y	SD345	t	30.824	30.824	61.648		

正

数量表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	P1橋脚	P2橋脚	合計	摘要	
土工	構造物掘削	普通部	土砂	m3	4133.2	3675.7	7808.9		
躯体工	コンクリート	A1-3 (B)	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$	m3	14.0	14.0	28.0		
		B2-1 (B)	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m3	192.4	192.4	384.8		
	型枠	C	H $\leq$ 30m	m2	165.7	165.7	331.3		
		A	SD345	t	8.896	8.896	17.792		
	鉄筋	B		t	18.247	18.247	36.494		
基礎工	コンクリート	D1-1	t=100mm	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	箇所	84	84	168	
	型枠	D		m3	8.7	8.7	17.4		
	基礎材	B	t=200mm	m2	4.3	4.3	8.6		
杭基礎工	場所打ちコンクリート杭		RC40	m3	17.4	17.4	34.8		
			ϕ 1500	m	80.0	80.0	160.0		
	鉄筋	Y	SD345	t	30.824	30.824	61.648		

訂正箇所

設計図
(付帯工)
5/142頁
コンクリートブ
ロック積工詳
細図(4)

誤

Rw-Cb (W) 数量表

(1式当り)

項 目	種 別	単位	数 量			摘 要
			1.50-13.70	1.50-54.77	1.50~1.64(F)-99.58	
コンクリートブロック積工	控え35cm 滑面	m ²	21.5	77.3	164.4	
裏込め碎石	RC-40	m ³	5.0	16.8	38.5	
コンクリート基礎工	TYPE-A (F)	m	13.7	54.8	39.5	
	TYPE-B (F)	m	—	—	60.0	

Rw-Cb (W) 材料表

(1式当り)

項 目	種 別	単位	数 量			摘 要
			1.50-13.70	1.50-54.77	1.50~1.64(F)-99.58	
コンクリートブロック	控え35cm 滑面	m ²	21.5	77.3	164.4	
胴込コンクリート	D1-1	m ³	3.9	13.9	29.6	
天端コンクリート		m ³	0.7	2.7	5.6	
裏込コンクリート		m ³	—	—	10.5	
止水コンクリート	C1-1	m ³	0.6	2.2	4.3	

正

Rw-Cb (W) 数量表

(1式当り)

項 目	種 別	単位	数 量			摘 要
			1.50(F)-13.70	1.50(F)-54.77	1.50~1.64(F)-99.58	
コンクリートブロック積工	控え35cm 滑面	m ²	21.5	77.3	164.4	
裏込め碎石	RC-40	m ³	5.0	16.8	38.5	
コンクリート基礎工	TYPE-A (F)	m	13.7	54.8	39.5	
	TYPE-B (F)	m	---	---	60.0	

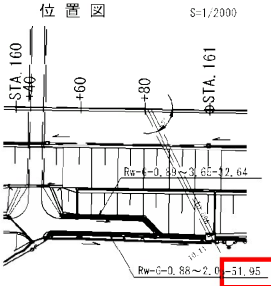
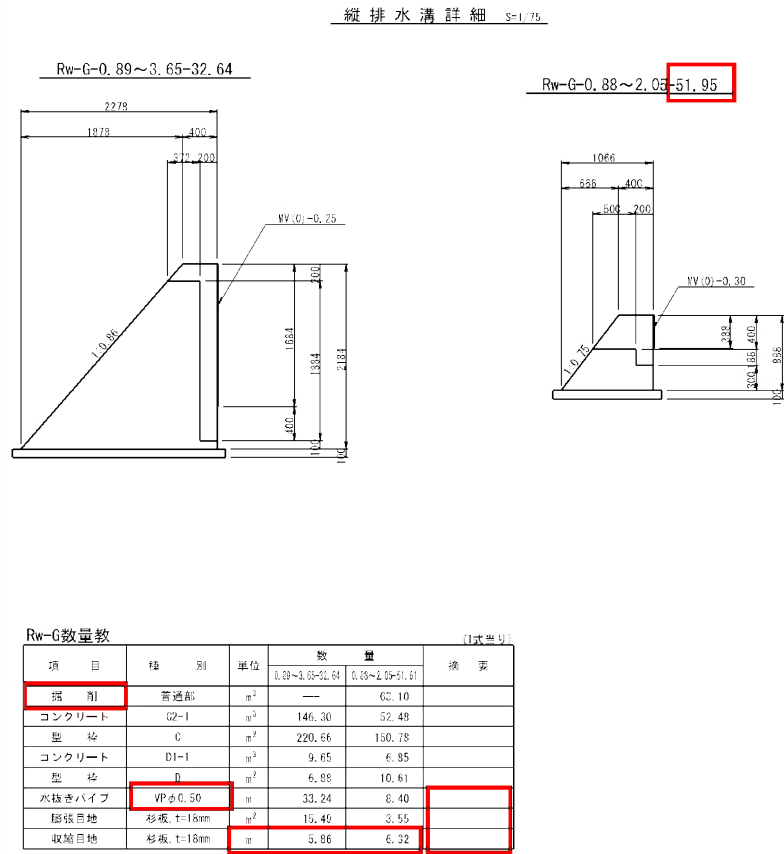
Rw-Cb (W) 材料表

(1式当り)

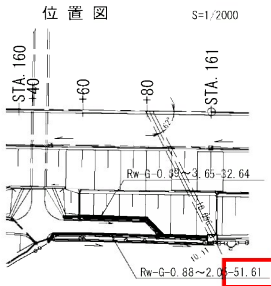
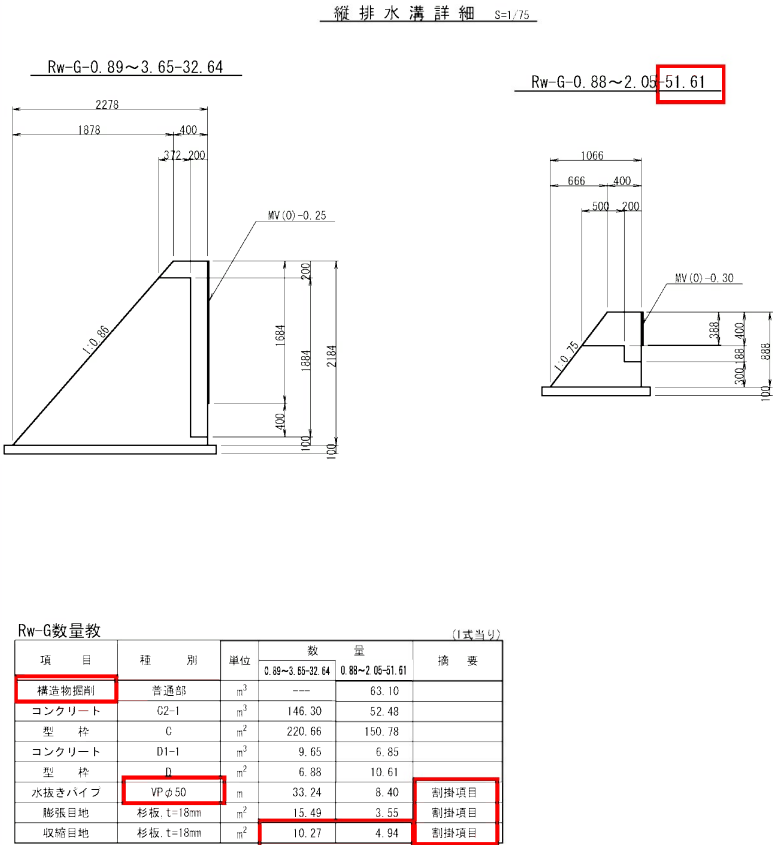
項 目	種 別	単位	数 量			摘 要
			1.50(F)-13.70	1.50(F)-54.77	1.50~1.64(F)-99.58	
コンクリートブロック	控え35cm 滑面	m ²	21.5	77.3	164.4	
胴込コンクリート	D1-1	m ³	3.9	13.9	29.6	
天端コンクリート		m ³	0.7	2.7	5.6	
裏込コンクリート		m ³	---	---	10.5	
止水コンクリート	C1-1	m ³	0.6	2.2	4.3	

設計図
(付帯工)
13/142頁
重力式擁壁構造図

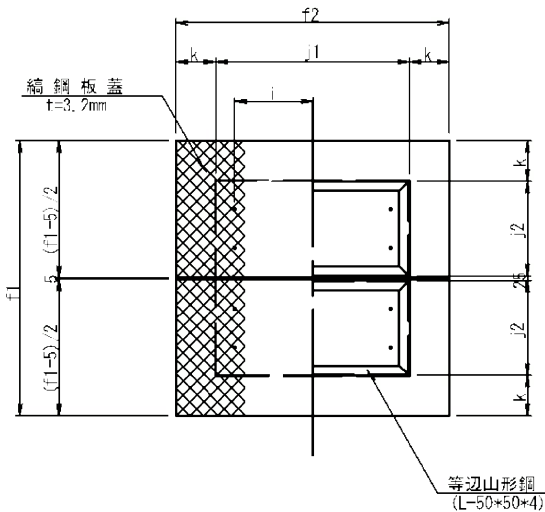
誤



正

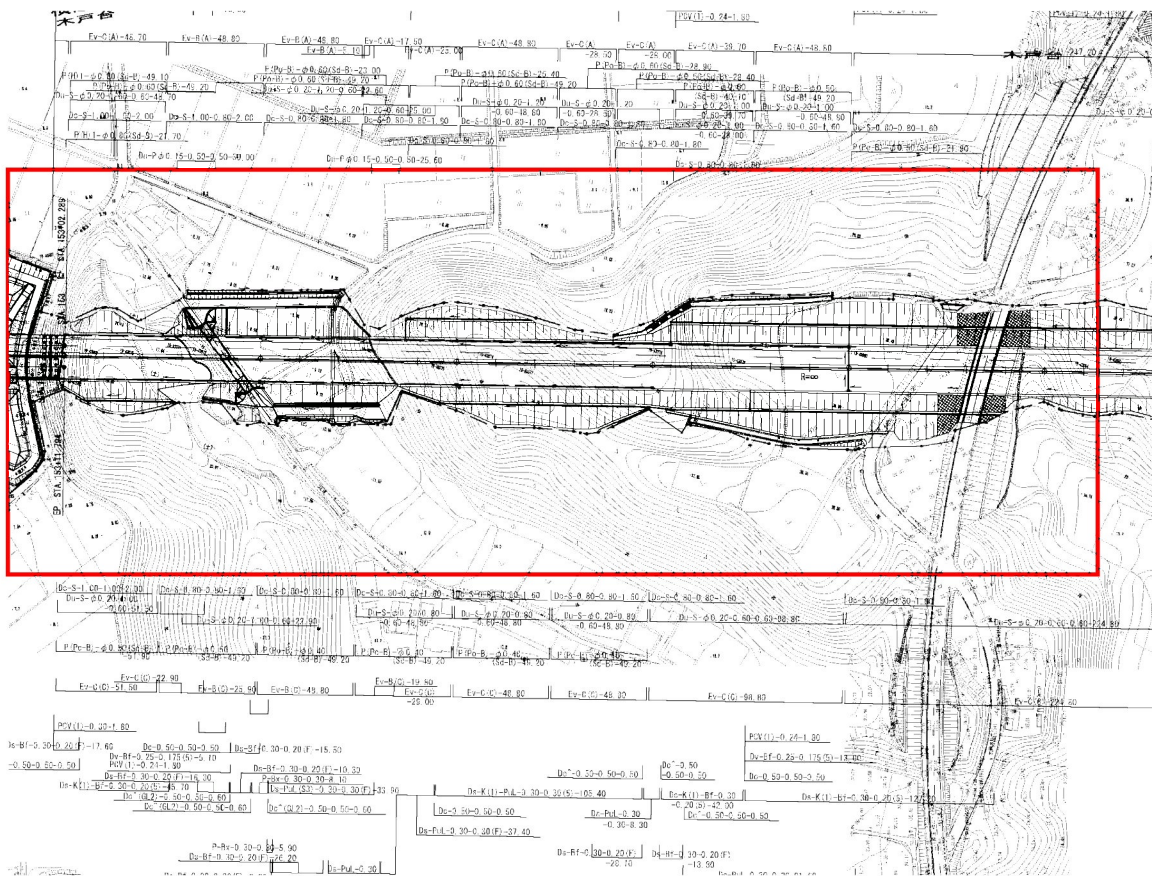


訂正箇所	正誤区分																				
設計図 (付帯工) 27/142頁 用排水工詳細 図(9)	誤	ふとんかご詳細図 断面図 S=1/75 ふとんかご工 材料表 (1箇所当り) <table><tr><th>項 目</th><th>種 別</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>ふとんかご</td><td>1. 2m・0. 4m・0. 2m・13cm</td><td>組</td><td>1</td><td>中詰用栗石含む</td></tr></table>	項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要	ふとんかご	1. 2m・0. 4m・0. 2m・13cm	組	1	中詰用栗石含む									
項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要																	
ふとんかご	1. 2m・0. 4m・0. 2m・13cm	組	1	中詰用栗石含む																	
正	ふとんかご工 1. 2m・0. 4m・2. 0m・13cm詳細図 断面図 S=1/75 ふとんかご工 材料表 (2枚当り) <table><tr><th>項 目</th><th>種 別</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>ふとんかご</td><td>t=400mm</td><td>m2</td><td>4. 80</td><td></td></tr><tr><td>中詰め材</td><td></td><td>m3</td><td>1. 92</td><td></td></tr><tr><td>吸出防止材</td><td>t=10mm</td><td>m2</td><td>7. 52</td><td></td></tr></table>	項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要	ふとんかご	t=400mm	m2	4. 80		中詰め材		m3	1. 92		吸出防止材	t=10mm	m2	7. 52	
項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要																	
ふとんかご	t=400mm	m2	4. 80																		
中詰め材		m3	1. 92																		
吸出防止材	t=10mm	m2	7. 52																		

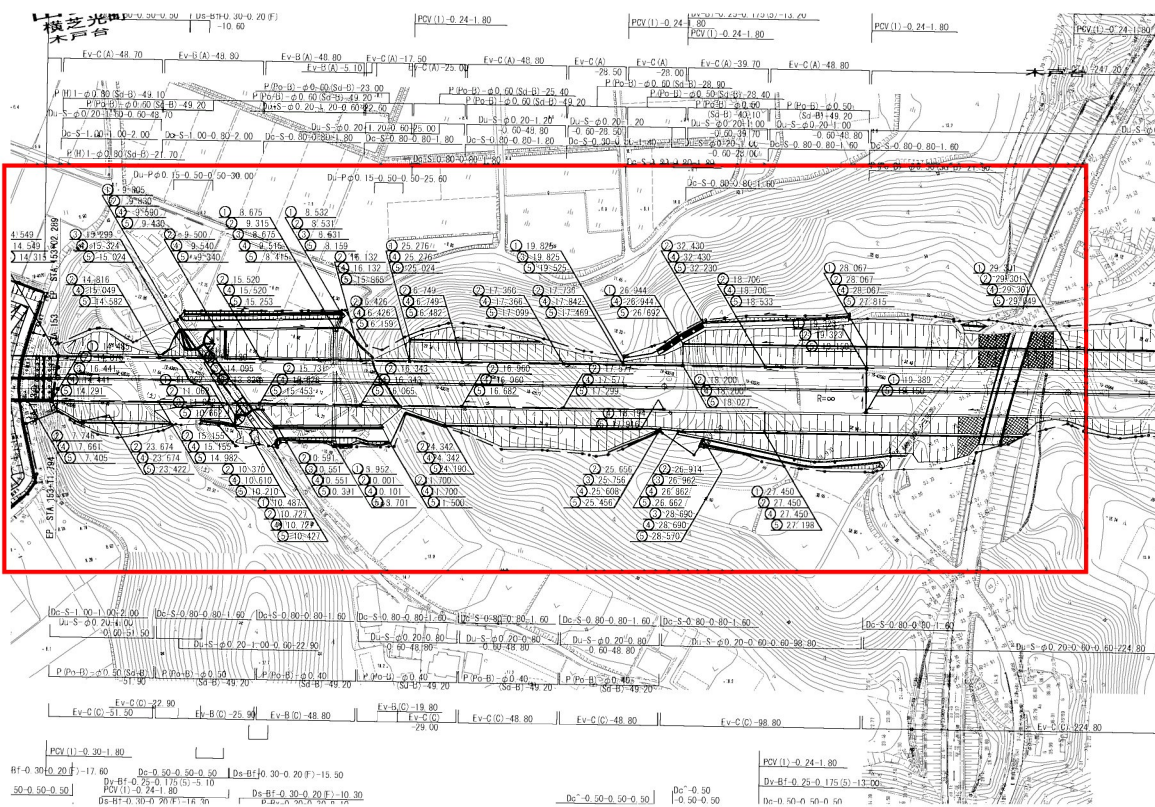
訂正箇所		正誤区分												
設計図 (付帯工) 31/142頁 用排水工詳細 図(13)	誤	縞鋼板蓋  縞鋼板蓋 寸法表 <table><tr><th>f 1</th><th>f 2</th><th>i</th><th>j 1</th><th>j 2</th><th>k</th></tr><tr><td>1900</td><td>1900</td><td>600</td><td>1390</td><td>682.5</td><td>255</td></tr></table>	f 1	f 2	i	j 1	j 2	k	1900	1900	600	1390	682.5	255
	f 1	f 2	i	j 1	j 2	k								
1900	1900	600	1390	682.5	255									
正	削除													

設計図
(付帯工)
35/142頁
排水系統図
(1)

誤



正



訂正箇所

設計図
(付帯工)
39/142頁
転落防止柵工
構造図

誤

正誤区分

材料表10m当り

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
			A	
ビームパイプ	φ42.7*2.3	m	10	
支柱	φ60.5*3.2	本	3.33	
コンクリート基礎	□300*450	m3	—	
ホークアンカー	M12*100	本	6.66	
構造物掘削	□600*450	m3	—	

正

材料表10m当り

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
			A	
ビームパイプ	φ42.7*2.3	m	40	
支柱	φ60.5*3.2	本	3.33	
コンクリート基礎	□300*450	m3	—	
ホークアンカー	M12*100	本	13.32	
構造物掘削	□600*450	m3	—	

訂正箇所	正誤区分
設計図 (付帯工) 47/142頁 ⑮調整池 放 流施設一般図	⑮調整池 放流施設一般図 縦断図 S=1/250 誤
正	⑮調整池 放流施設一般図 縦断図 S=1/250 正

項 目	種 別	単位	数 量				摘 要
			吐口部	暗渠部	放流塔	合 計	
コンクリート	B1-3	m ²	8.46	41.98	72.10	122.54	
型 枠	D	m ²	36.84	79.47	126.44	242.75	
鉄 筋	D13	kg	267.00	955.00	485.00	1707.00	
	D16	kg	—	—	51.00	—	
基 礎 材	切込砕石	m ²	1.38	3.46	3.78	8.62	
オリーブス板	500×500, SUS304, t=6mm	枚	—	—	1.00	1.00	
アンカーボルト	M12×150 SUS304	本	—	—	8.00	8.00	
目 地 板	高弾性ゴム発泡体 t=10mm	m ²	—	—	0.16	0.16	
スクリーン		基	—	—	1.00	1.00	
足掛金物	D16×800	kg	—	—	12.00	12.00	
目 地 材	歴青材 t=20	m ²	2.02	5.65	—	7.66	
止 水 板	I 型	m	6.53	14.00	3.00	23.53	
遮水鋼矢板	II w 型	m	—	14.00	—	14.00	
	W=600	枚	—	7.0	—	7.0	
	L=2000	kg	—	865.2	—	865.2	
足 場 工	枠 組	空m ³	6.60	69.45	131.88	207.93	
ふとんかご工	2.000×1000 t=500	枚	—	—	1.00	1.00	
支 保 工	39.2kn/m ²	空m ³	—	24.19	—	24.19	

誤

正

(1箇所当り)

項 目	種 別	単位	数 量				摘 要
			吐口部	暗渠部	放流塔	合 計	
コンクリート	B1-3	m ³	8.46	41.98	72.10	122.54	
型 枠	D	m ²	36.84	79.47	126.44	242.75	
鉄 筋	D13	kg	267.00	955.00	485.00	1707.00	SD345
	D16	kg	---	---	51.00	---	SD345
基 礎 材	切込碎石	m ³	1.38	3.46	3.78	8.62	
オリアイス板	500×500, SUS304, t=6mm	枚	---	---	1.00	1.00	
アンカーボルト	M12×150 SUS304	本	---	---	8.00	8.00	
目 地 板	高弾性ゴム発泡体 t=10mm	m ²	---	---	0.16	0.16	
スクリーン		基	---	---	1.00	1.00	114 kg
足掛金物	D16×800	kg	---	---	12.00	12.00	
目 地 材	歴青材 t=20	m ²	2.02	5.65	---	7.67	
止 水 板	I 型	m	6.53	14.00	3.00	23.53	
遮水鋼矢板	II w型	m	---	14.00	---	14.00	
	W=600	枚	---	7.0	---	7.0	
	L=2000	kg	---	865.2	---	865.2	
足 場 工	枠 組	空m ³	6.60	69.45	131.88	207.93	
ふとんかご	t=500mm	m ²	---	---	2.00	2.00	
中詰め材		m ³	---	---	1.00	1.00	
吸出防止材	t=10mm	m ²	---	---	4.00	4.00	
支 保 工	39.2kn/m ²	空m ³	---	24.19	---	24.19	

訂正箇所

設計図
(付帯工)
58/142頁
⑱調整池 流入施設構造図
(1)

誤

流入施設工材料表

(1箇所当り)

項 目	種 別	単位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m ³	38.8	
コンクリート	C1-1	m ³	11.1	
	D1-1	m ³	5.2	
型 枠	D	m ²	23.8	
ふとんかご工	2.00×1.00×0.50	枚	12	
吸出防止材	t=10mm	m ²	30.0	

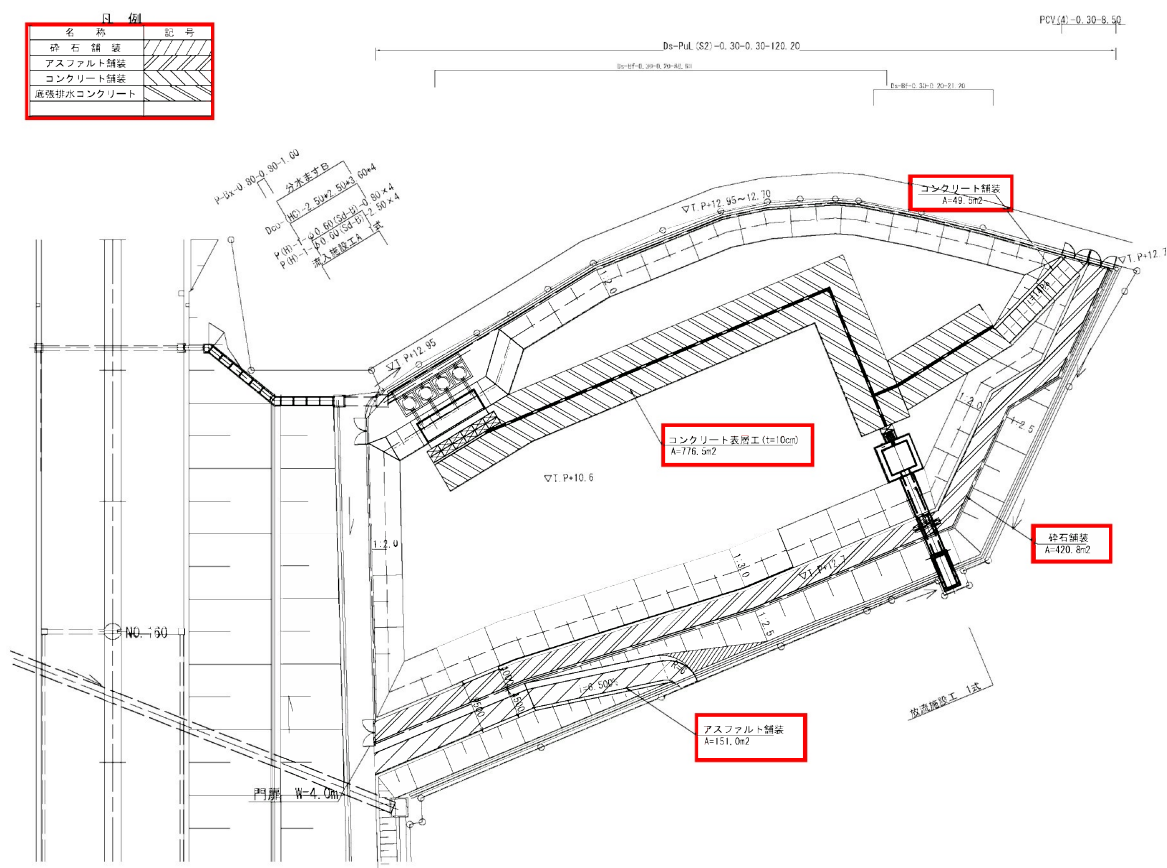
正

流入施設工材料表

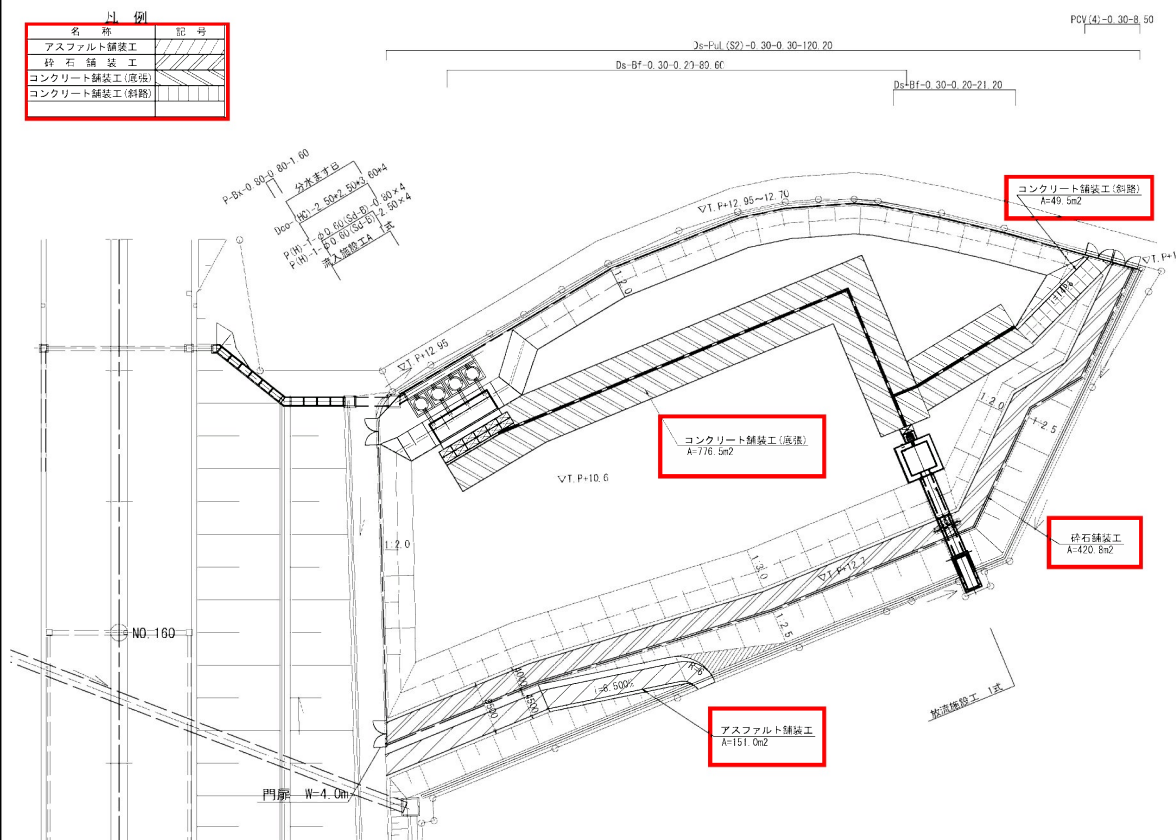
(1箇所当り)

項 目	種 別	単位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m ³	38.8	
コンクリート	C1-1	m ³	11.1	
	D1-1	m ³	5.2	
型 枠	D	m ²	23.8	
ふとんかご	t=500mm	m ²	24.0	
中詰め材		m ³	12.0	
吸出防止材	t=10mm	m ²	32.0	

誤



正



訂正箇所		正誤区分																																																																						
設計図 (付帯工) 66/142頁 ⑱調整池 付 帯工図(2)	誤 コンクリート舗装工(斜路)構成図 S=1/60 溶接金網 (150×150×φ6.0) コンクリート表層工 t=10cm 切込砕石路盤工 t=10cm コンクリート表層工(斜路)材料表 (100m2当り) <table> <tr> <th>項 目</th><th>種 別</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> <tr> <td>コンクリート</td><td>C1-1 t=10cm</td><td>m³</td><td>10.0</td><td></td></tr> <tr> <td>型 枠</td><td>D</td><td>m²</td><td>6.7</td><td></td></tr> <tr> <td>溶接金網</td><td>150×150×φ6.0</td><td>kg</td><td>288.5</td><td>W=3.11kg/m2</td></tr> <tr> <td>目 地 材</td><td>t=8mm, w=40</td><td>m</td><td>10.0</td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	項 目	種 別	単位	数 量	摘 要	コンクリート	C1-1 t=10cm	m ³	10.0		型 枠	D	m ²	6.7		溶接金網	150×150×φ6.0	kg	288.5	W=3.11kg/m2	目 地 材	t=8mm, w=40	m	10.0												正 コンクリート舗装工(斜路)構成図 S=1/60 溶接金網 (150×150×φ6.0) コンクリート表層工 t=10cm 再生切込砕石路盤工 t=10cm コンクリート表層工(斜路)材料表 (100m2当り) <table> <tr> <th>項 目</th><th>種 別</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> <tr> <td>コンクリート</td><td>C1-1 t=10cm</td><td>m³</td><td>10.0</td><td></td></tr> <tr> <td>型 枠</td><td>D</td><td>m²</td><td>6.7</td><td></td></tr> <tr> <td>溶接金網</td><td>150×150×φ6.0</td><td>kg</td><td>288.5</td><td>W=3.11kg/m2</td></tr> <tr> <td>目 地 材</td><td>t=8mm, w=40</td><td>m</td><td>10.0</td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	項 目	種 別	単位	数 量	摘 要	コンクリート	C1-1 t=10cm	m ³	10.0		型 枠	D	m ²	6.7		溶接金網	150×150×φ6.0	kg	288.5	W=3.11kg/m2	目 地 材	t=8mm, w=40	m	10.0											
項 目	種 別	単位	数 量	摘 要																																																																				
コンクリート	C1-1 t=10cm	m ³	10.0																																																																					
型 枠	D	m ²	6.7																																																																					
溶接金網	150×150×φ6.0	kg	288.5	W=3.11kg/m2																																																																				
目 地 材	t=8mm, w=40	m	10.0																																																																					
項 目	種 別	単位	数 量	摘 要																																																																				
コンクリート	C1-1 t=10cm	m ³	10.0																																																																					
型 枠	D	m ²	6.7																																																																					
溶接金網	150×150×φ6.0	kg	288.5	W=3.11kg/m2																																																																				
目 地 材	t=8mm, w=40	m	10.0																																																																					

訂正箇所

設計図
(付帯工)
67/142頁
⑱調整池 付
帯工図(3)

誤

Dco- (HC) -2. 50*2. 50*3. 60材料表

(1箇所当り)

項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m ³	67.01	
綯鋼板ふた	φ1800, t=6	組	1.00	
特殊部材付直壁	φ1800, H=1500	個	1.00	
頂版ブロック	φ1800/□2500, H=300	個	1.00	
中間ブロック	□2500, H=600	個	1.00	
管取付ブロック	□2500, H=1500	個	1.00	
穿 孔	HP600用	個	2.00	
モルタル	1:3	m ³	0.27	
均しコンクリート	D1-1	m ³	1.01	
基礎砕石	RC-40	m ³	2.02	

処理能力

ユニット サイズ	処理能力		貯 留 槽				
	最大処理流量 *1	集水面積 *2	マンホールサイズ	最小貯留槽高 *3	油の貯留量	堆積物の貯留量	全貯留量
	(L/s)	(ha)	(mm)	(mm)	(L)	(L)	(L)
S T C 9	30	1.2	□2500 (φ1800)	2560 (1800 矩形部高)	1780	2180	11 160

*1 貯留槽内で処理できる最大流量であり、この値を超えた流量分だけがオーバーフローします。
*2 降雨強度10mm/hrの場合の集水面積です。
*3 現場条件等からマンホールブロック割付けが変更され、貯留槽高が変わることがあります。

正

Dco- (HC) -2. 50*2. 50*3. 60材料表

(4箇所当り)

項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m ³	408.10	
綯鋼板ふた	φ1800, t=6	組	4.00	
特殊部材付直壁	φ1800, H=1500	個	4.00	
頂版ブロック	φ1800/□2500, H=300	個	4.00	
中間ブロック	□2500, H=600	個	4.00	
管取付ブロック	□2500, H=1500	個	4.00	
穿 孔	HP600用	個	8.00	
モルタル	1:3	m ³	1.07	
均しコンクリート	D1-1	m ³	3.87	
型 枠	D	m ²	3.07	
基礎砕石	RC-40	m ³	7.75	

処理能力

ユニット サイズ	処理能力		貯 留 槽				
	最大処理流量	集水面積	マンホールサイズ	最小貯留槽高	油の貯留量	堆積物の貯留量	全貯留量
	(L/s)	(ha)	(mm)	(mm)	(L)	(L)	(L)
S T C 9	30	1.2	□2500 (φ1800)	2560 (1800 矩形部高)	1780	2180	11 160

削 除

訂正箇所

設計図
(付帯工)
84/142頁
STA.172+70.0
0 付替道路
一般図

誤

STA. 172+20. 00付替道路数量表

(1式当り)

項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
土 工	切 土	m ³	360. 0	
	盛 土	m ³	0. 0	
法 面 工	植生シート A	m ²	126. 6	

正

STA. 172+70. 00付替道路数量表

(1式当り)

項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
土 工	切 土	m ³	360. 0	
	盛 土	m ³	0. 0	
法 面 工	植生シート A	m ²	126. 6	

訂正箇所

設計図
(付帯工)
87/142頁
8号OV 横芝
山武線 跨道
橋 迂回道路
平面図

誤

8号OV迂回道路数量表

(1式当り)

項 目	種 別	単位	数 量	摘 要
土 工	切 土	m ³	3 876.2	
	盛 土	m ³	2 769.7	
法 面 工	植生シートC	m ²	682.9	
	植生シートD	m ²	1 047.6	
用・排水こう	Ds-PuL (S1)-0.30-0.30 (F)	m	235.6	
	Ds-PuL (S3)-0.30-0.30 (F)	m	223.0	
	PCV (4)-0.30	m	200.0	
	PCV (5)-0.30	m	211.6	
	GLV (2)-0.30	m	23.0	
	GLV (3)-0.30	m	24.0	
簡易舗装工	粒調碎石路盤工 M-40, t=40cm	m ²	1 706.2	
	粒調碎石路盤工 M-25, t=5cm	m ²	448.5	
	加熱アスファルト表層工 t=5cm	m ²	2 154.7	
転落防止柵工B	P-3E-4	m	71.3	
仮設防護柵工		m	235.0	
路面標示工	路面標示標準型A1	m	672.6	

正

8号OV迂回道路数量表

(1式当り)

項 目	種 別	単位	数 量	摘 要
土 工	切 土	m ³	3 876.2	
	盛 土	m ³	2 769.7	
法 面 工	植生シートC	m ²	682.9	
	植生シートD	m ²	1 047.6	
用・排水こう	Ds-PuL (S1)-0.30-0.30 (F)	m	235.6	
	Ds-PuL (S3)-0.30-0.30 (F)	m	223.0	
	PCV (4)-0.30	m	200.0	
	PCV (5)-0.30	m	211.6	
	GLV (2)-0.30	m	23.0	
	GLV (3)-0.30	m	24.0	
簡易舗装工	粒度調整路盤工 M-40, t=40cm	m ²	1 706.2	
	粒度調整路盤工 M-30, t=5cm	m ²	448.5	
	加熱アスファルト表層工 t=5cm	m ²	2 154.7	
転落防止柵工B	P-3E-4	m	71.3	
仮設防護柵工		m	235.0	
路面標示工	路面標示標準型A1	m	672.6	

訂正箇所	正誤区分
設計図 (付帯工) 89/142頁 8号OV 横芝 山武線 跨道 橋 迂回道路 標準横断面図	誤 NO. 0+60.00 GH=34.29 FH=35.049 10500 500 1000 3000 3000 500 2500 路面標示 (標準型A1) PCV (4)-0.30 GLV (2)-0.30 仮設防護柵工 PCV (5)-0.30 GLV (3)-0.30 転落防止柵工 (P-3E-4) 植生シート工D 1:1.8 Ds-PuL (S3)-0.30-0.30 (F) Ds-PuL (S1)-0.30-0.30 (F) 加熱アスファルト表層工 t=5cm 粒度調整路盤工 (M-25) t=5cm 加熱アスファルト表層工 t=5cm 粒度調整路盤工 (M-40) t=40cm

訂正箇所

金抜設計書14頁

誤

正誤区分

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位
157	18 - (3)	簡易舗装工 粒度調整路盤工 (t = 4 0 cm)	1,706	m ²
158	18 - (3)	簡易舗装工 再生粒度調整路盤工 (t = 1 5 cm)	441	m ²
159	18 - (3)	簡易舗装工 再生水硬性粒調砕石路盤工 (t = 1 4 cm)	519	m ²
160	18 - (3)	簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t = 3 cm)	299	m ²
161	18 - (3)	簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t = 4 cm)	9,491	m ²
162	18 - (3)	簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t = 5 cm)	5,178	m ²
163	18 - (3)	簡易舗装工 加熱アスファルト基層工 (t = 5 cm)	519	m ²
164	18 - (3)	簡易舗装工 コンクリート表層工 (t = 1 0 cm)	826	m ²
165	18 - (17)	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (T y p e A)	160	m ³
166	18 - (17)	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (T y p e B)	68	m ³
167	18 - (17)	構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し (T y p e A)	409	m ²
168	18 - (17)	構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し (T y p e B)	7,741	m ²

正

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位
157	18 - (3)	簡易舗装工 粒度調整路盤工 (t = 4 0 cm)	1,706	m ²
158	18 - (3)	簡易舗装工 再生粒度調整路盤工 (t = 1 5 cm)	441	m ²
159	18 - (3)	簡易舗装工 再生水硬性粒調砕石路盤工 (t = 1 4 cm)	519	m ²
160	18 - (3)	簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t = 3 cm)	299	m ²
161	18 - (3)	簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t = 4 cm)	9,491	m ²
162	18 - (3)	簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t = 5 cm)	5,178	m ²
163	18 - (3)	簡易舗装工 加熱アスファルト基層工 (t = 5 cm)	519	m ²
164	18 - (3)	簡易舗装工 コンクリート表層工 (t = 1 0 cm)	826	m ²
165	18 - (17)	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (T y p e A)	160	m ³
166	18 - (17)	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (T y p e B)	68	m ³
167	18 - (17)	構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し (T y p e A)	515	m ²
168	18 - (17)	構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し (T y p e B)	6,705	m ²

訂正箇所		正誤区分			
割掛対象表参考内訳書【雑工事費】	誤	【雑工事費】			
		割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
		のり面仕上げ費	共通仕様書 2-6-5（8）及び 2-7-5（6）に規定する作業に要する費用をいう。	切土のり面仕上げ（土砂）－49257.3m ² 盛土のり面仕上げ（1：1.5）－3025.2m ² 盛土のり面仕上げ（1：1.8）－22916.3m ² 盛土のり面仕上げ（1：2.5）－1350.8m ²	
		沈砂池費	降雨により浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、田畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	設置箇所－2箇所 STA. 160+40付近 掘削1514.7m ³ 、土木安定シート322.6m ² STA. 164+80付近 掘削486.7m ³ 、土木安定シート249.0m ²	○
		構造物水抜穴費	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	VP管（Φ50mm）－121.4m	○
		目地材費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	目地板（t=1.8cm） 31.2m²	○
		くい頭処理費	場所打ちぐいのくい頭はつりに要する費用をいう。	OV8号－くい頭処理－16本 OV9号－くい頭処理－8本	
	正	土砂防止柵費（盛土のり面用）	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長－36.5m×3ヶ月 設置延長－293.7m×8ヶ月 設置延長－84.3m×12ヶ月 設置延長－140.5m×2ヶ月 設置延長－42.3m×3ヶ月 設置延長－140.0m×4ヶ月	○
		【雑工事費】			
		割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
		のり面仕上げ費	共通仕様書 2-6-5（8）及び 2-7-5（6）に規定する作業に要する費用をいう。	切土のり面仕上げ（土砂）－49257.3m ² 盛土のり面仕上げ（1：1.5）－3025.2m ² 盛土のり面仕上げ（1：1.8）－22916.3m ² 盛土のり面仕上げ（1：2.5）－1350.8m ²	
		沈砂池費	降雨により浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、田畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	設置箇所－2箇所 STA. 160+40付近 掘削1514.7m ³ 、土木安定シート322.6m ² STA. 164+80付近 掘削486.7m ³ 、土木安定シート249.0m ²	○
		構造物水抜穴費	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	VP管（Φ50mm）－121.4m	○
		目地材費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	目地板（t=1.8cm） 34.3m²	○
		くい頭処理費	場所打ちぐいのくい頭はつりに要する費用をいう。	OV8号－くい頭処理－16本 OV9号－くい頭処理－8本	
		土砂防止柵費（盛土のり面用）	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長－36.5m×3ヶ月 設置延長－293.7m×8ヶ月 設置延長－84.3m×12ヶ月 設置延長－140.5m×2ヶ月 設置延長－42.3m×3ヶ月 設置延長－140.0m×4ヶ月	○